

# 農業機械の共同利用で コストを削減

## 農業委員会だより

企画／宗像市農業委員会  
連絡先／宗像市東郷1-1-1  
TEL (36)0046

農業についての  
意見を気軽にどうぞ。

### 農業委員が視察研修

市農業委員会では、東広島市の集落農場型農業生産法人「フアームサポート東広島」を7月に視察しました。

同法人は、昨年12月に5つの集落営農法人が機械の共同利用による効率化を図ろうと、組合を設立。各法人が保有する機械を同組合が借り上げ、共同利用でコストを削減するものでした。

低迷する農業経営を余儀なくされる中、コスト削減の努力が求められている同市では、各法人間の連携の動きが一層活発になってきているようです。

また、将来的には集落営農法人の合併で、スケールメリットを生かしていくことも視野に入れているそうです。



広島市農業委員会を訪問し、運営状況などについて研修を実施

### 集落農場型農業生産法人とは

集落（1〜数集落）が1つの経営となつて、集落の農地を1つの農場としてまとめ、効率的で安定的な農業経営を実施する農業生産法人。



離れや担い手の高齢化が進み、今後の農業経営のあり方を模索していく上で、非常に参考になりました。

### 宗像地域の今後の農業を考える

市議会と交流会を開催

市農業委員会では、宗像地域の農業の現状を理解してもらおうと9月27日、市役所で市議会議員との交流会を開催。

県の北筑前普及指導センター長から、国内や宗像地域の農業・農村の現状と課題などの基調講演



農業問題について市議会議員と意見交換を実施

の後、「イノシシ対策」耕作放棄地問題「担い手不足問題」などについて活発な意見交換を実施しました。

また、休憩時には、宗像の特産品として今話題の県新品種イチジク「よみつひめ」と、JAむなかたが新たに商品開発した、宗像産米100パーセントの米粉パンの試食が非常に好評でした。

### 農地の有効利用を目指して

農地パトロールを実施

市農業委員会では、優良農地を守り農地の有効利用を図るために、現在農地パトロールで利用状況調査を実施しています。

23人の農業委員が担当地区ごとにグループ編成し、遊休農地や耕作放棄地、無断転用農地などを対象に調査しています。調査後は、農地の有効利用に向けて事後指導などの対応を進めていきます。



グループに分かれて耕作放棄地をパトロールする農業委員

調査期間中は、農家のみなさんの理解と協力をお願いします。

### 続出するイノシシ被害

市では近年、中山間地域の農作物を中心にイノシシによる被害が続出しています。

また、大島や地島地域では限られた範囲のため被害は一層深刻化している状況です。

昨年度、宗像地区内で約400頭を上回るイノシシを捕獲しています。

最近では市街地にも出没。市民生活への影響もあり、地元「猟友会」の協力を得ながらイノシシの捕獲を実施するとともに地域全体での自己防衛を呼びかけています。

### イノシシの特徴

非常に警戒心が強く、臆病で注意深い。昼間は茂みなどが入らない場所で休み、夕方から田畑などへ侵入します。

また、学習能力が高く、人の動きをよく観察し、一度覚えると忘れません。視力は悪くありませんが、青色系統以外の色は識別できないといわれています。

### 対策として

- ①防護柵を過信しない
- ②イノシシの好むクズ野菜、生ごみ、落下果物、墓地での供え物などを放置しない
- ③耕作放棄地や田畑周辺、住宅の裏山の「やぶ」などを切り払って見通しをよくし、イノシシの隠れ場所をなくす
- ④イノシシを発見した時は、刺激を与えず、その場から避難する



### 農業者のための 農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は、「食料・農業・農村基本法」に則した政策年金です。

#### 【制度のあらまし】

- ①農業者年金は、ほかの公的年金と同様、「農業者の老後生活の安定と福祉の向上」とともに、農業者年金事業を通じて「農業の担い手を確保する」という農業政策上の目的を持っています
- ②農業に従事する60歳未満の人で、農業従事日数が年間60日以上で、国民年金第1号被保険者であれば、誰でも加入できます
- ③新しい農業者年金制度は積立方式です。納めた保険料とその運用益が、将来あなたの年金の原資になります
- ④保険料は、加入者本人の選択で自由に設定できます。月額2万円を基本として、6万7,000円まで増やせます（全額社会保険料控除対象）

\*詳しくは、農業委員会か、JAむなかた営農企画課 ☎(36)2374へ電話で問い合わせを